

## 6) 人材育成事業

国広潮里<sup>1</sup>・山本広美<sup>1</sup>

キーワード：指導者育成事業

### 1. はじめに

自然環境や科学に興味を持つ沖縄県内の小中学生が、視察や体験学習、研究等を通して探究心を育みながら、地域の自然について学ぶ機会の充実を図るとともに、財団職員が持つ動植物や環境に関する知識や経験を活かした学習機会の提供を行う。また、大学等で学ぶ学生や教員を対象とした次世代の指導者育成にも寄与すべく事前調査及び実施計画を行う。

財団職員人材育成として、総合研究センター職員の調査研究・普及活動に関する情報を共有、施設運営・収益事業等へのスキルアップを目指す。

### 2. 事業内容

#### 1) 指導者育成事業

大学等で学ぶ学生や教員、財団職員を対象に、次世代の指導者を育成することを目的とする。また、子どもから大人向けに、調査方法等のレクチャーを行い、野外で安全に活動する方法を指導する。

#### (1) 海洋博公園内海岸散策イベント

学習用教材等の作成や一般向けイベント「イノアの生きもの観察会」開催のモデルケースとして、8月に財団職員とその家族に向けて、海洋博公園内の海岸において海洋博公園内で海岸散策を実施し13名の参加があった(写真-1)。参加者から運営や内容について様々な意見や助言を受けることができ、一般向けイベント開催に向けて準備が整った。3月には一般向けの開催も予定していたが、当日の天候不良により、実施には至らなかった。



写真-1 海洋博公園内での海岸散策

#### (2) 総合研究センター 情報共有座談会

職員間で担当する専門分野の情報を交換することで、新規事業の立ち上げ等の一助となることを期待し実施した。令和4年度は、総合研究センターの職員が財団職員向けに自身の研究等の事業を紹介するオンラインゼミを実施、12回の講義で延約260人が参加した(表-1 および写真-2)。

### 3. まとめ

本年度は、職員向けに「海洋博公園内の海岸散策イベント」と、昨年度から引き続き「総合研究センター情報共有座談会」を実施した。職員の公園に関する知識向上と魅力の再発見に繋げることで、園内の魅力化向上を図った。参加者からは、今後の事業に有用な意見が得られた。今後は、得られた意見を基に、一般向けに様々な専門分野の最前線で活躍している方の技術や知識を伝承するワークショップや講演会等を実施し、技術伝承に寄与していきたい。

### 4. 外部評価委員会コメント

県内の小中学生が、視察や体験学習、研究等を通して探究心を育みながら、地域の自然について

<sup>1</sup> 普及開発課

学ぶ機会を得る、評価の高い事業である。今後も  
発展継続を期待する。(池田顧問:琉球大学誉教授)

表-1 総合研究センター情報共有座談会 発表リスト

令和4年度 総合研究センター 情報共有座談会(月一ゼミ) ※毎月第三水曜日 16:00~17:00				
	実施日	講演者名	所属部署	内容
1	2022/4/20	岡 慎一郎	動物研究室	動物研究室での外来種対策研究
2	2022/5/18	佐藤 裕之	植物研究室	沖縄の新しい花『ちゅら』 ～絶滅危惧種リュウキュウベンケイの再発見、 そして新品種の開発～
3	2022/6/15	久場まゆみ	琉球文化財研究室	「琉球料理の継承 ～“琉球料理 美栄”を中心として～」
4	2022/7/20	小林 希実	動物研究室	長期に渡るザトウクジラの生態調査 ～地域への貢献と新たな取り組み～
5	2022/8/17	徳原 憲	植物研究室	培養技術で琉球列島のランを守る
6	2022/9/21	宮城 奈々	琉球文化財研究室	芭蕉布・上布(苧麻布)・桐板布 ー繊維の比較研究を 中心にー
7	2022/10/19	富田 武照	動物研究室	水族館発！サメの繁殖生態学最前線
8	2022/11/24	岡 慎一郎	動物研究室	【調査報告】あの潜水艇に乗ってきました
9	2022/12/21	辻本 悟志	植物研究室	倒木から安全を守るための公園樹の病害調査 ～ミナミネグサシ病の症例から～
10	2023/1/18	宮本 圭	動物研究室	魚が蛍光する理由を考える
11	2023/2/15	中村 将	動物研究室	魚の性を自由に換える
12	2023/3/15	板井 英伸	普及開発課	沖縄の船サバニ～地域のワザを受け継ぐ～



写真-2 月一ゼミ実施の様子